

**野田市郷土博物館・市民会館
令和4年度第2回博物館懇談会**

日時：令和5年3月2日（木）17時～18時45分

場所：野田市郷土博物館1階展示室、野田市市民会館 市民つどいの間

出席者：博物館懇談会委員・飯野きみ子、今井清人、横川しげ子、米川幸克。

郷土博物館・杉山一男、柏女弘道、寺内健太郎、奥村麻由美、後藤智輝
(書記)

議題：

1, 博物館出張ミニ展示 山中直治展

博物館展示室にて3月4日（土）より生涯学習センター・ギャラリーで開催予定の同展についてデモ展示を行う寺内学芸員より解説を行った（議事録省略）。

2, 令和4年度の事業報告

市民会館市民つどいの間に移動し、意見交換を行った。

●意見交換

館長：それでは第2回目の博物館懇談会をはじめさせていただきます。まず議題としましてはお配りした通り令和4年度の事業報告、前回以降実施したものについての説明と、それから来年度の事業計画、その他ということで進めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

それでは事業報告の方からはじめさせていただきます。それぞれ担当した学芸員の方から説明させていただきますのでよろしくお願いします。

柏女：お配りした資料の方、1番から4番までページ数がふってある「令和4年度第2回博物館懇談会配布資料」、写真入りのものをご覧ください。あとクリップで止めてありますチラシ、ホームページの印刷したものもありますので随時使いながら説明させていただきます。

最初は地域づくりネットワーク事業ということで、寺内さん。

寺内：地域づくりネットワーク事業ということで、これは、この年度から具体的にやっております。茂木本家美術館さんとか、関宿城博物館さんとか、市内の施設と協力しています。その中で清水公園千秋社に協力いただいて行ったイベントになります。春にも同じものを行ったので、一度簡単には説明を聞いていると思うのですが、11月にも同じような形でやらせていただきました。ちょうど紅葉が見ごろの、終わるギリギリの時期だったのですが、自然を見ながら歌碑・句碑とか、あとは清水公園の醤油醸造との関りがわかるような石碑とかがありますのでそういったものをまわりながら実際に見ていただいて親しんでいただくという形でやらせていただきました。ちょっと肌寒く、時期も時期だったので寒かったところもあったのですが、12名の方にご参加いただきました。

柏女：それから、下の方ですね、参加館の拡充ということで、クリップで止めてあります資料の方に当館のホームページの方にネットワークのページがございまして、そちらに参加館の一覧ですとか、ネットワークでやった事業について、いろいろ報告しております。令和4年の9月9日以降、興風会館さんと、中央小学校の教育史料館と、一番最新では東京理科大学のなるほど科学体験館、現在は13施設が参加をしております。

先ほど申しあげました今昔散歩以外にもいろんな事業を展開していきたい、また事業だけではなく日常的にやりとりをして運営に役立てられるような、そういう穏やかなつながりを作っていきたいなということで取り組みを進めております。ホームページも、マップのPDFなどを公開しておりますので、是非ご覧いただければと思います。

では先に進めさせていただきます。1ページの下の方にあります、子どもたちを対象に郷土愛をはぐくむ事業、ということで、小学校を対象に、縄文時代とか古墳時代のパネル展示を巡回で行っております。4年度は、縄文時代は一度一周しましたので、今度古墳時代編を現在巡回しております。2ページの方に展示風景、写真の方ございますが、左側は清水台小学校、右側は表にははいていないのですが先日行きましたみずき小学校の写真になります。廊下ですとかフロアスペースなど、学校さんの方で場所を決めていただいて、置かせていただいて、子どもたちの方に見ていただくということになります。もともと、なかなか博物館に子どもたちが来ていないといった状況もあって、であればこちらから出ていこうということで始めたものであって、中央小学校さんが近いから入っていないのですけれども、こちらはまた巡回展の方をさせていただけたらと思っております。こちら3月以降も進めて、4月5月でおそらくまた古墳時代が一周するかと思っております。また子供たちも学年あがっていきますので、そしたらまたあらためて縄文をまわしたりですとか、そういったことを考えています。

それから2番の小学校郷土資料室整備支援ということで、奥村さん。

奥村：前回お話があったかと思うのですけれども、学校の資料室、古い農具とか置いてあるような展示室を整理することをお手伝いしていくということで、今年ちょうど150周年の東部小学校さんと、協力させていただいて無事開館となりました。やったこととしては、学校の歴史変遷とか、やはり歴史のある学校ですので、最初は小さいお寺でやってたんだよとか、場所は少し移動したとか、それから目吹という場所だったので、そこに関連する歴史の人物であったり、地名の由来とか、親しみを持ちやすい歴史の紹介をパネルにしたものをまず貼っております。それとあわせて古いもの、昔の小学校の教科書とかそういったものを展示しております。それと、向こうの先生方とのお話や提案の中で、子供たちに楽しんでもらいたい、足を向けたくなる場所にしたいなということと、古いものに興味を持ってほしいということで児童向けの図書とか歴史のことを児童書として学べる本を充実させたいと、おてだまとか、そういう昔の遊び、けんだまとかコマとかそういうのを配置してここで自由に遊んでいいよと、直接触れながら親しめる、学習できる環境にしたいということで作らせていただいた。この前開室記念だったのですけれども、好評

で良かったかなと思っています。まだこれからなんですけど最終的にこのパネルも冊子にしたものを配り配架していただくのと、いまの小学生さんタブレットを持っていますので、そういったものに入れて授業とかに活用していただければと思っています。以上です。

柏女：そしたら次3ページですね、今年度内、もう3月ですけれども、これから実施する事業の予定となります。まず伝統文化の継承のための事業について、お茶関係の講座を2つ、後藤さんの方から。

後藤：そうしましたら、3ページの、こちらの事業として今回茶道関係のイベントを行う予定であります。そのうちの1番の（呈茶席の）部分、実は第1回としましては本来去年の9月25日を予定していたのですけれども、こちらの方はコロナウイルスの感染拡大防止ということで中止せざるを得なくなりました。それで第2回目の方なのですが、こちらの方は3月5日ということで10時から15時、もうすぐなのですけれども、こちら現在準備を進めています。今回はできるかなと思っています。ちなみに今回はコロナ感染流行後初めての開催となります。場所は松樹庵の方、茶室の方ですね、そちらの方で呈茶席をやらせていただきます。内容としては、来館者に抹茶とお菓子を提供するという形です。野田市の茶道協会と共催というような形で、開催させていただきます。参加費は300円とさせていただきます。実は第1回目の9月25日の時も問合せといたしますか、やりますかといったお話もあったので、今回はいろいろな方が来て下さるとうれしいなと思っています。

続きまして親と子の茶道講座という事で、こちら茶道関係のイベントとして同じくくりの中で行わせていただきます。こちらと同じく3月21日、火曜日祝日という事でこちらの日に開催させていただきます。午前の部と午後の部に分けまして、午前が10時から12時、午後が13時30分から15時30分ということで、内容としましては親子を対象として茶道講座ですね、茶道の基本的なお作法であったりとかお茶のたて方を親子で学んでいただくというような形になっております。場所も同じく松樹庵、あと市民会館に分けておりまして、これを分けているのは、茶室の方ではお茶席の入り方などといった作法に重点を置いて、市民会館ではお抹茶を実際にたててもらおうといった二つを、両方を習うというような形で市民会館と松樹庵を使わせていただきます。こちら参加費は300円です。昨日が締切となっております、これから応募者に連絡をしてというような流れです。

ただ、今までですと例年10組程度の募集でしたが、今年コロナの関係で人数を減らして最大6組までという事にさせていただきました。人数は昨日締切で定員を超えなかったため、今応募している方は全員受講していただくというような形になります。

こちらで以上になります。

柏女：引き続き、山中直治の方を。

寺内：山中直治の方は、先ほど（展示室で）説明しました通りでございます。3月11日に（コンサートが）ございまして、（展示は）先ほどご覧いただいた形で4日から16日までギャラリーの方やっておりますので、ぜひお立ち寄りいただければなと、よろしく願いいたします。

柏女：では4ページの方ですね、奥村さん。

奥村：3月の12日と19日の2回ですね、自立した市民を育成するための講座として、私が身近な神社から見えてくる地域の歴史というタイトルでやらさせていただきます。簡単に申し上げますと、地元の神社とかについて、いろいろ気になる方もいると思うのですが、例えば野田市だと、香取神社をよく見かけると思うのですが、氷川神社ってないと思うんですね。そういったところってなんでかというところ、歴史を紐解いていくと、そもそも利根川であったり、香取の海というものがあって、そこに鹿島と香取がきていて、鹿島と香取は伊勢系統で、そして氷川神社っていうのはそもそも出雲系統の神様、そういったところをなぜなんだろうというところを、古い日本神話の基礎のところから話して、実は地元の神社というものも、古い神様の神話というものをつなぎながら歴史を身近に感じることができるんですよという事を、1回目で見かたという事でお話させていただきますと思います。

2回目は、実際に近所の神社というのを歩いてみて、皆さん色々参拝されると思うのですが、なんでこの神社がここに鎮座したのか、誰に呼ばれて鎮座したんでしょうかとか、この神社の鳥居を見ると伊勢系統であることがわかりますねとかそういうお話なんかをしていきたい、見方も楽しくなるかなという事で、一緒に歩いて行こうかなと思っております。以上です。

柏女：続けてグッズの方もお願いします。

奥村：ミュージアムグッズも、今缶バッジも今ここに買いつらい状態で置いてあるのですが、これをリニューアルの機会にもう少し拡充したいと、ちゃんとショップらしい感じでリニューアルしたいなということで、いくつかグッズを考えています。一つは缶バッジ、ミミーちゃんのものガチャガチャになっているのは見たことあると思います。今は博物館が休館ですので市民会館のところにあるのですが、そちらに、今までのミミーちゃんに追加して今度資料、当館の資料を使ったちょっとおしゃれな大人向けの、記念になるようなバッジを別の種類として作ろうかなと思っております。

それともう一つ、トートバックです。他の博物館さんとかも、おしゃれな何かミュージアムとかいうのあると思うのですが、うちも欲しいなと思ひまして、今お醤油の資料を使ったもので検討しておりますので、来年の展示のあたりからご紹介というか、お披露目できればと思っております。以上です。

柏女：事業報告としては以上になります。

杉山：なにかご質問あれば。では順番に。

委員：学校の巡回の展示の方、私4月から中央小なのでありますが、その前は南部小学校だ

ったので、南部小学校の方では昨年度来ていただいて、とても子供たちにわかりやすい説明のもので、自分たちも興味をもって見ているような感じでした。あとは、東部小学校さんでやっていたというのもすごくいいなと思ひまして、南部小学校も百年を記念した部屋なのですけれども、元は資料室としてやろうとしていたんですけれども、ちょっと物が置いてあるだけみたいな感じのところがあつて。その時何となく 150 周年を機だから、少しこの部屋を整理してなんかしたいねといった話もあつた。まさにこの手助けをしてくれるというようなところ、結構野田の小学校って歴史のあるところが多く、たぶん来年も木間ヶ瀬小学校さんが 150 周年とか、そういう機会があればそういったところでもいいのかなと思ひました。

それから山中直治の（展示を）さきほど見させてもらひましたけれども、中央小学校と縁が深い方で、私も知らないことがたくさんあつたのですけれども、あの展示はぜひ職員にも見せたいなというのが一番でした。中央小学校の先生たちとか、そのお話の中で松山隆校長先生がいた時代の中央小学校ですとか、そういうところ、今年中央小学校も 150 周年だったのですけれども、やっぱり子供たちもそうですけれども職員が意外と知らないという事もあつて。私も立場上記念誌を作つたりとかそういったことで調べていくと松山先生の事とか深く知ることができたのですけれども、もう一回、職員も知らなきやいけない、できれば子どもたちにも伝えていきたいなというような思ひもあつて。そういった山中直治の作品というのはぜひ先生に見せたいなと思ひました。以上です。

杉山：ありがとうございます。話に出た南部小学校については東部小学校の次にやるということになっております。

委員：やはりそういう話に。

杉山：長妻校長先生からお話がありまして、来年度の 4 月以降入りまして、手を加えていつてという話になっております。

それから巡回展は中央小学校さんには申し訳なかつたのですが、来年度立ち上がりで縄文時代をやらせていただこうと思ひておりますので、後で日程の調整をお願い致します。さらに今年度においてネットワークに参加いただきましたので、今後ともお願いしたいのと、さっそく今度の会議では会場をお願いしていますので、ご案内などいろいろお願いすることになりますのでよろしくお願ひします。

さらに直治のコンサートでも中央小学校さんと南部小学校さんを核にこれからずっと続けていきたいと思ひますので、その辺もまたご協力お願ひいたします。ありがとうございます。

委員：今日はたくさんのお話を学ばせていただきました。わたくしもずっと教職に身を置いていたものですので、（資料の）2 ページの小学校郷土資料室整備支援、すごい良いことをやっていただけたんだなど。学校の資料室というのはなんか物置みたいな感じになつちゃつて、これじゃやっぱり子供たちの為にはならないな、何とかしなくちゃという思ひだけは強かつたのですけれどもなかなかそちらの方まで手が回らなくて。こういった形

で子供たちの歴史に対する、あるいは郷土に対する、いろんな生まれ変わった資料室を、愛する、なんか、そんなのになったんじゃないかな、そういうものにまた、目を向けていく子供たちが変わっていったんじゃないのかなって、すごいことを事業としてされた、ありがとうございます。そんな感じでございます。

それから山中直治の、先ほどほんとに懇切丁寧に色々説明をしていただき、また資料を見せていただき、すごい人が野田の地にね、活躍されて、またそれがいろんな形で、市民の、なんていうのでしょうか、ほっこりするような、そういう優しい気持ちっていうか、私も今日ほんとにここまで詳しくいろいろお話を、あるいは資料をおみせいただけると思っていませんでしたので大変勉強になりました。ありがとうございます。

委員：この資料にある子供たちを対象に郷土愛をはぐくむ事業というのはこれすごい良いと思うんですが、写真を見るとパネル展示ばかりですよ、やっぱり置きっぱなしにすると重要な資料やなんかは置けないっていうのはわかるんですが、やっぱりどうしても前から私言っているんですが、読むのが嫌なっちゃうと思うんですよ。ですから小学校だからこそアニメチックな、読むんじゃなくて目で見てわかるような資料をやった方がいいんじゃないかなというのがまず一つなんですけれども。それにも関わってくるんですが、これどういう風に見た感想かなんかを吸い上げていくのはやりづらいですよ。

実際授業としてここにみんなで集まってっていうんだったらある程度反応やなんかを取れると思うんですが、外へなんかにおいてただ一方的に見てもらってっていうのだと反応を得づらい、で、反応が得られないと結局はブラッシュアップできないですよ。やりっぱなしになっちゃうって、こういっては失礼なんですけれども自己満足の世界に入っちゃうんだよなどとしても。やっぱりあのいいところもあつたけどここはもうちょっとこうの方がいいって意見も取り入れるようにしないと次やるときに結局おんなじもの出しときゃいいやっていう、まあそれはならないんでしょうけれども、そういう風な感じになっちゃうと思うんで、どうにかして反応を吸い上げてブラッシュアップして次はもうちょっとこういうふうにしようという風にやっていくともっと精度が、良いの出来てくるんじゃないかなと思います。なにしろちょっとこの小さい写真であれなんですけれども子どもたちあんまり字は…最近の子は特に読まないですから。興味さえ持ってくればあとはどんどんどん行くと思うので、絵とかアニメ的なものをパネルには入れていった方がいいのではないかなと思いました。以上です。

杉山：まず、ひとつこれから年報紀要をお配りいたします。年報紀要これは3月末くらいにお手元に届けられるのかなと思いますが、巡回展の感想を柳沢小学校がまとめてくれたものがあるんですね。子どもたちに向けてアンケートをしてくれて、いろんな回答も得ていますので、こちらとしても非常にありがたい、声がいろいろ聴けたので大変参考になりました。ですからそれを皆さんにお配りしますので、ぜひご一読いただけたらと。

それからおっしゃった通り我々の自己満足では非常にまずいと思うんですね。結局今までの学校さんも最初何周年記念ということで設置して、そこで年月が経るにしたがっ

てだんだんそこがそのままになってしまっていて、それがどんどん後から物が来る状態で、極端なことを言えば物置になってしまおう。子どもたちが全然立ち入らない部屋になってしまってもうカギがかけっぱなしの状態になっているというのは多く見受けられます。中央小学校さんみたいにそれこそ地元の方々が来てお力を借りながら毎年毎年整備かけて、新しいものをどんどん追加していくというのは、毎年毎年見ごたえがあるんでしょうけれども、他の学校はなかなかそういう状態ではなくて閉め切りというところもあったんです。それじゃまずかろうということを手を加えることがまず一つの発想であって、その中で今後ですね、子どもたちを巻き込んでいろいろなことをできないかということでも東部小学校さん南部小学校さんとお話をさせていただいています。どういうことかという、例えば東部小学校さんと話した時、煮詰まっではないのですけれども、そもそもがこれをやったことによって高学年が低学年の子に自分たちの学校の歴史をちゃんと説明できるようにしていけないかと。それをどんどん継承していくことによって、子どもたちに地域の歴史とか学校の歴史をつないでってもらう。我々もやりっぱなしじゃなくてメンテナンスを入れていきたい。ある程度の期間が来たら展示を変えていくとか。今のところたまたまこれをやった時にあんまり展示する、所謂モノがなかったんです。なくてできなかったのがパネルが中心になったのと、あとは卒業証書とか昔の校則みたいなものを出させていただいた。それに関連する本をいっぱい並べたりした。あとたまたまここで出土した土器類が県にあるので、それを貰えるというような話になったので、それを展示するというような話もまとめてあるんですね。ですからそういう風にある程度の時間がきたらちょっとメンテナンスをかけて、入れ替える。それから先ほど言ったように子どもが、自分の、低学年の子に説明できるようにしてってどんどん継承できるような仕組みをつくれないうかということ、今話を進めています。で、今回も記念式典をやった時に我々が原稿の作りのお手伝いをしたんですけれども、パワーポイントの発表の原稿を作っちゃって説明も簡単だったんですけれども、あまり時間がなくて、こういうことだよって説明を渡して、自分たちで全校生徒の前で発表してもらうようなそういう仕組みも作ったので、これからそういった形で、我々はあくまでも黒子となり、子どもたちが自分たちでやっていけるようにとは考えています。で、おっしゃったように、ほんとに、読まないと思うんでね、入ってきたときもなかなかパネルよりも、いろんな、昔のおもちゃが並んでいるんです。メンコとかビー玉とか、そういうのがいっぱい並んで、どっちかというみんなそっちに関心がいっちゃうんです。だからそういうことも踏まえて、それはそれで部屋に呼び込むということの利点はあるんでそれはそれでいいのですけれども、できるだけ読んでもらいたい。言葉を柔らかくしたり写真をいっぱい入れたりもしましたので、それはおっしゃるとおり工夫はしていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。参考になりました。

委員：同じような意見になってしまいますけど、小学校を回ったということで、とてもよかったなと思っています。昔の遊びとかね、学校でよくやりますよね、それもプラスしてと

いうことですので、過去のことを知るということはとても大事なことで、素晴らしいことだなど。

また、お茶会は、何人くらいまで、定員は3人？

寺内：6人くらい。

委員：コロナの頃は3人くらい。

柏女：そうですね、コロナの頃は。

委員：また少し緩和されるのかな。素晴らしい建物にね、それも説明するとわかるのですが、それも加えてという事なんでしょうかね。

後藤：お雛様をやった時も（茶室を紹介する）パネルは出させていただいたのですけれども、何かしら出せたらいいなと思います。ただお茶会ですので、メインとしてはこちらになります。

委員：せっかくですからね、リニューアルした良さを分かっていただけるともっといいかなと。

後藤：ありがとうございます。

委員：また、さきほどの神社のことなんですけど、わたくしも全然知らなくて、香取神社がこの辺多いということですか。わたくしも時間があつたら是非伺いたいと思っております。知らないことばかりです。すぐそばにあるということで、身近なものですのでね、今のお参りに行くというとはかに行ってしまうたり、自分の神社とかというものを大事にしなきゃいけないということを知っていただければいいなど。

あと、山中直治さん、今うかがっていて、私、すいません作曲家だったとか、今日まで思っていなくて、良かったです。やはり代々続いてきたものを楽譜にして、永久にそれが残ると、良かったと思います。そのくらいでしょうか、それは私だけじゃなくて、そういうことももう少し、あの、皆さん知ってたんでしょうかね、わたくしだけだったんでしょうかね。広めていただくのがここのためになるのかなと思っています。ぜひ続けていただければと思います。

寺内：山中直治は結構、やっぱり作曲家っていうのが先に出ているので、それで展示とかやるのですが、やっぱり学校の先生。やっぱり学校の先生であるという、その上で作曲家というところがやっぱり直治の特徴だと思うので。そういったところが一緒に出せるといいなと。ありがとうございます。

3、令和5年度の事業計画

杉山：ありがとうございます。それでは次の5年度の事業計画、5月くらいまでざっくりと説明させていただきます。

柏女：常設展の展示替えということで、今も4年度内から継続して実施しておりますけれども、屋根の工事で長期休館という形で今年の9月から休館をしておりますので、それに合わせて2階の常設展の方ですね、一部展示の資料を入れ替えようということで今計画を

進めております。前回の懇談会の時にもご説明いたしましたように、考古資料ですとか土器とかもなかなか今までの常設展だとなかったので、そういったところを出せたらなということと、あとはすべての地域は難しいかもしれないのですが、関宿の方ですとか、そういった地域も取り上げられるようにできたらなということを考えており、今計画を進めております。

4月の29日に博物館の方が再開の予定でありますので、こちらにあわせて準備の方を進めております。では企画展の方を。

寺内：続いて、令和5年度企画展市民コレクション展となります。リニューアルオープン1回目の展示は4月29日からになります。コレクション展の企画書というのを別紙で付けさせていただいて、中にはいっております。市民コレクション展ということで、市内在住の、地図をいっぱい集めている方で、茂木浩介さんという方がいらっしやいまして、その方がお持ちの観光案内・沿線案内、所謂鳥観図というやつですね、上から見下ろして、近代になってからですね、鉄道できまして、観光地がいっぱいできて、観光案内、お客さん呼び込むために地図を描くんですけど、そういったものをたくさん集めて、展示をすることになります。これが7月17日までの予定で開催いたします。関連事業としては（企画書の）8番の方にございますけれども、コレクターと一緒に鳥観図を見ようという事で、展示をするものは今選びつつやっていますけれども、どうしても出せないものというのはやっぱりあるのでそういったものを市民会館の方で部屋を用意して、コレクターさんと一緒に見てもらおうかなということで、お客さんとコレクターさんの交流の場にもなればなということで、こういう形で進めたいと思います。

続けて子どもの日のイベントでございまして、5月5日にやる講座になります。今まであんまり子どもの日にイベント的なのをやってた時もあったんですけど、今回、親子向けの、小学生と保護者を対象としてというものなんですけども、「親子で楽しく文武両道」ということで、「見て触れる甲冑番体験と、ひらがなであそぼ」というのをやってみたいと思います。ちょっとはじめてやってみるので実際上手くいくのかというのはあるんですけども午前部と午後部で、全体90分とりまして、小学校の授業みたいな感じですね。40分ずつとって、40分で甲冑の、これは後藤学芸員のほうで担当になりますけれども、甲冑のことを、見て触ってもらうような。あと後半の40分で私の方で江戸時代の、文と武ということでひらがな、変体仮名という、崩し字というの難しいのでひらがなですね。いろんな種類のひらがな、いっぱいあるのでそういったものをみんなで書いてみたい、そういうもので当時に親しんでもらおうというのがございます。ということでやってみたいなど。そういうかたちで、これはこれから広報をうって、4月1日の市報に載せてですね、四月半ばには締め切りをして抽選みたいな形になると思うのですが、そんな形で（準備を）しております。では、次は後藤さん。

後藤：もう一つ、先ほどお話した呈茶席、こちらとはまた別として、上原家住宅、野田市桐

ヶ作に、歴史のある住宅があるのですけれども、こちらの方では是非お庭と建物を見てもらいながらお庭で呈茶席というような形で、見学会できないかなということで考えさせていただきました。内容としては建物の見学と、外でやるような形で呈茶席ができないかなというので、新しくやってみようという試みであります。こちらですね6月ごろを目途に開催したいなとは思っているのですけれども、計画始動した段階でございますので今後打合せ等を行って、開催できればというような形で思っております。以上となります。

杉山: とりあえず来年度の5月くらいまでのものはこのくらいの予定で参ります。あとざっくりと付け加えさせていただきますと、博物館法の改正がありますのでその内容につきまして来年度改めて説明させていただこうかと思っています。さらに来年度、日本博物館協会という組織がありまして、(今年は)その全国大会が千葉県が会場になります。そういった形で千葉市のところを中心にいろんなことが行事としてありますので、11月の15~17の間。その間にどんなことがあるかというのも後でご紹介できたらと思います。

あとは、上原本家さんと今タイアップして事業をやろうとしております。初めてのことで地元の方にお声がけいただいたりなんかご協力お願いできないかなと思っていますので、よろしくお願ひします。

呈茶席ということで10時からたとえば15時までの間に好きな時間に来ていただいてこちらと同じようにお茶をふるまわせていただいて、あちらの門とか書院とか見ていただくようなそのようなことで考えておりますので、ぜひ協力のほど。特にあそこの奥様が地元にいるいろいろ役に立ちたいみたいな思いがあられて私どもの方に相談がありましたので、これを具体化させて今回の話になりましたから、ぜひよろしくお願ひします。

先ほど4月29日に博物館が再開すると申し上げました。9月の会議で来年の開館の時期の話申しあげたかもしれませんが、休館が少しのびて4月28日まで休館するという話になっております。これは屋根の修繕工事の過程で漏水事故がありまして、その関係で開館が少し遅れました。

何か計画でご質問あれば、一人ずつお伺ひいたします。

委員: お雛様がとても評判が良かったようで。

杉山: そうですね。

委員: ぜひまた来年も。

杉山: おかげさまでホームページご覧になって初めてくるような方もお雛様見に来ていただいて大変良かったと思います。

委員: 身近な方が誘い合ってね。

杉山: ええ、ありがとうございます。

委員: 先ほどの上原家の呈茶席は、一日ですか？

杉山: 一日だけです。

委員: そうですか。

杉山: 日にちが決まったらご案内しますので是非、ご協力お願ひします。

杉山：以上でございます。次の博物館懇談会は例年ですと秋口に。

柏女：特別展の時期に。

杉山：特別展は野田の武道、剣道史をやる予定ですので、概略を、どんなものになりそうなのか。

後藤：特別展は今回わたくしが担当させていただきます。よろしく申し上げます。今回武道、剣道史を扱わせていただくような形です。野田は剣道が盛んでございまして、ただ、良く剣道史というと近世の方で、例えばこの前も埼玉など武術関係の展示とかを行っていたかと思うのですけれども、近世の方が多いのですけれども、野田は近代の方に差し掛かるお話になっています。なので扱うのは近代の方がメインになるかと思うのですけれども、大澤専二さんとか全国で活躍された剣術・剣道家の方もいらっしやって、そちらの方を取り扱います。ちょうど剣術、今まで剣術と呼ばれたものが、剣道という学校体育に使われるような過程の時代、だんだん学校とかで武道が盛んに取り入れられて、徐々に剣道へと変わっていく時代になります。ここら辺の部分を取り上げさせていただければなど思っております。

春風館道場、今も盛んに剣道の方稽古しておりますが、戦前から盛んに行っております、戦前の大きな大会でも春風館道場で稽古された方が千葉県の代表選手として参加されていたりします。こういうのってなかなか知られていないのかなと、また近代の剣道史もあまり取り上げられていないのかなと思いますので、いまでも剣道盛んにおこなわれておりますし、こちらの方をピックアップして、野田の近代史を知っていただければなど思ひまして、展示の方開催させていただきます。まだ調べている最中ではございますが、よろしく願いいたします。

杉山：野田の剣道レベルすごかったらしくて、優勝もしていた。

後藤：そうですね、いろいろと活躍しています。

杉山：そういったことでまた来年度も一つ、このまま引き続きお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。